

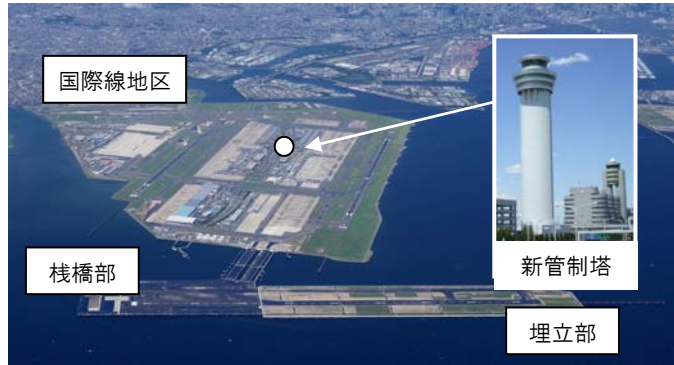
東京国際空港（羽田空港）再拡張後の交通アクセスの利便性向上について

国土交通省航空局、国土交通省関東運輸局

東京国際空港（羽田空港）は、平成 22 年 10 月の再拡張により、航空機の発着回数の増加、昼間時間帯の国際定期便の就航、深夜・早朝時間帯の国際便の増加等、空港機能が量的・質的に大きく向上することとなります。

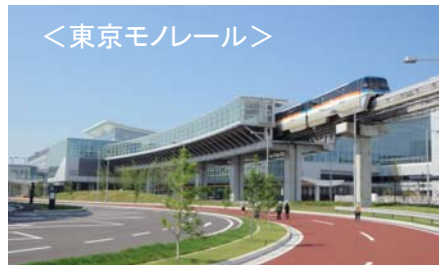
これらの空港機能の向上に伴い、空港への交通アクセス（鉄道・モノレール、バス、タクシー及びレンタカー・カーシェアリング）の利便性の向上が重要な課題となることから、関係者の連携のもと、空港の機能向上に対応した望ましい羽田空港交通アクセスの実現に向けた具体的な対応方策に関する検討・調整を行ってきました。

関係者間の検討・調整の結果、再拡張後の交通アクセスの利便性向上についての方向性をとりまとめましたので、今回、交通機関ごとの主な取り組みを紹介いたします。



【再拡張事業概略図】

まず、鉄道・モノレール関係では、新国際線地区の供用開始に合わせて、国際線旅客ターミナルビルに直結する新駅を開業するとともに、新駅に外



【国際線地区新駅の開業】

国語対応可能なコンシェルジュの配置や駅案内サインの4ヶ国語表記（日、英、中、韓）等を行います。さらに、京浜急行における品川～羽田空港間ノンストップの「エアポート快特」等の運行や東京モノレールにおける「空港快速」等の増発等により、輸送力増強・速達性向上が図られます。また、深夜早朝時間帯の航空機の発着に対応した交通アクセス手段の確保のため、列車運転時間帯の拡大や増発を行います。

コンシェルジュの配置

案内サインの4カ国語表記（日・英・中・韓）

国際線出発 International Departures 国际航线出发 국제선 출발

国際線ターミナル International Terminal 国际线航站楼 국제선 터미널

出口 Exit 出口 출구

精算機 Ticket Adjustment 精算기

【外国語案内の充実】

バス関係では、現在国際線地区に乗り入れている路線については、一部を除き原則新国際線地区に乗り入れます。さらに、乗り場の分かりやすさの向上のため、バスポールを東京・

神奈川・千葉・埼玉方面等の方面別に配置するとともに、国際線旅客ターミナルビルの案内カウンターにおいて、すべてのバス路線の案内情報を統一的に表示できる情報板を設置します。また、深夜早朝時間帯の航空機の発着に対応した始発繰上げ・終発繰下げを実施します。

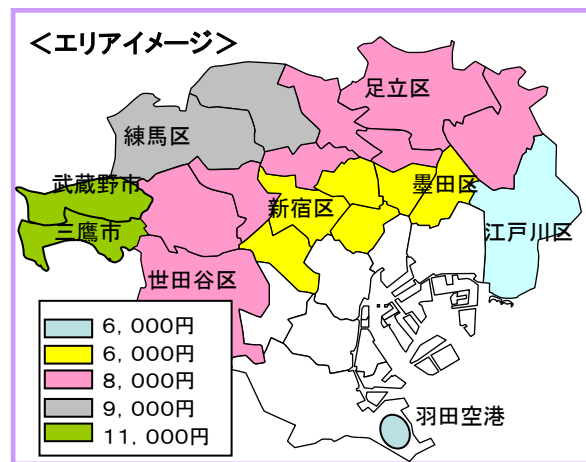


【案内情報板イメージ】

タクシー関係では、外国人旅客向けの優良サービスの提供のため、3ヶ国語表記（英・中・韓）の「指差し外国語シート」を活用します。新国際線タクシー乗り場には、同シートの活用方法等に関する講習を受講し、一定のホスピタリティのレベル保有者である旨の表示（車体ステッカー）をした運転者・車両のみが乗り入れを行います。さらに、わかりやすい運賃・料金制度として、羽田空港と各地区間相互の定額制運賃を導入します。また、乗り場、タクシープールの24時間化を円滑に進めるため、当面の間、指導員及びポーターの24時間体制による指導・誘導を実施します。



【外国人旅客向けの優良サービスの提供】



【定額制運賃の導入】

レンタカー・カーシェアリング関係では、空港内でのレンタカー引き渡しを実現されるとともに、空港を拠点とするカーシェアリング事業を実施します。また、4ヶ国語対応の料金表の作成や外国語対応のカーナビゲーションシステムの導入により外国人旅客に対するサービスの向上を図ります。

詳細につきましては、国土交通省報道発表資料をご参照いただければ幸いです。

【国土交通省報道発表資料↓】

http://www.mlit.go.jp/report/press/cab07_hh_000030.html